

# Tolna-Mözs

## トルナ・メズ

トルナ・メズの基本情報:

人口: 10,987人 (2018年)

面積: 71,07 km<sup>2</sup>

人口密度: 155,9人/km<sup>2</sup>

地域: 南トランスダヌビア

県: トルナ県 (Tolna megye)

郵便番号: 7130

ホームページ: [Tolna](http://www.tolna.hu) (www.tolna.hu)



トルナ・メズは、ハンガリーの南トランスダヌビアにあるトルナ県の都市です。トルナ県はハンガリーで5番目に小さい県であり、トルナ・メズは、トルナ県で5番目に大きい都市です。ブダペストから電車だいたい3時間半、車で1時間、バスで2時間かかります。



### トルナという名前の由来:

トルナの名前が実際にどこから来たのか正確には誰も知りません。トルナはローマ時代にはアルタ・リパ(Alta Ripa)という町でした。しかし、トルナの名前がアルタ・リパには由来していません。ただし、2つの科学的説明があります。1つは、トルナ

の名前の由来がラテン語で「習慣」を意味する「telona」であるというものです。トルナについての最初の残された書面による言及は、アンドラーシュ1世がティハニで書いた1055年の憲章にある「thelenaで」の形であり、これは(場所の名前を指す)「Thelenaで」と解釈することもできます。そ

の後、どういうわけか、Thelenaは時

間の経過とともにトルナとなりました。

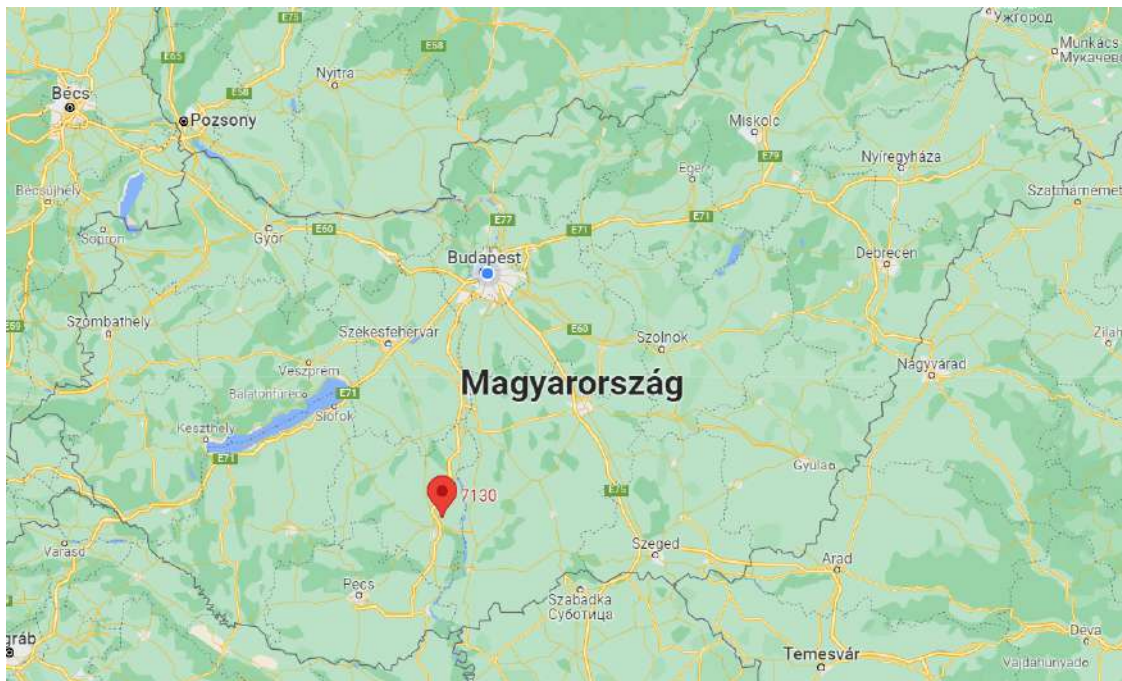
もう1つの説は、トルナが、古いハンガリーの個人名に由来するというものです。この説によると、トルナは、聖イシュトバーンが建てた城の城下町のリーダーの名前にちなんで名づけられました。このように、語源研究家の間でもコンセンサスはありません。



## メズの名前の由来：

メズの最初の書面による言及は1335年にさかのぼり、バチカンに保管されているリストでは、今日のメズの地域は先史時代にすでに人が住んでいたことが知られています。ここに人が住んでいたことは、ローマ時代、そしてフン族時代の考古学的遺跡でわかりました。

現在、メズの周りには、イツェ(Icse)、サーグ(Ság)、フェエルヴィス(Fehérvíz)、メズ(Mözs)の4つの集落があります。後者は、14世紀の文書では、後にメス(Mes)とミエス(Mies)の形でメスク(Mesk)として言及されていました。専門家によると、フィン・ウゴル語のメシ(mesi)から来た言葉で蜂蜜を意味します。



## 歴史：

人々はハンガリー人の征服前からトルナ・メズ地域に住んでいました。征服後、ゲーザ(Géza)の時代には、この地域はヴァイク(Vajk)が所有していました。ゲーザは、イシュトヴァーン1世(I. István)として、トルナ大司教区の本拠地でもあるトルナ城(Tolnavár)を建設しました。タタール人もトルナを包囲し、1300年にチャールズロバートが個人的に戦闘に参加しました。

1526年8月6日、ラヨシュ2世(II. Lajos)はトルナのモハーチ(Mohács)の前で軍のパレードを開催しました。しかし、1か月後、トルコ人はすでにその地域でキャンプをしていました。1543年には、スルタンスレイマン(I. Szulejmán szultán)もここを訪れました。

1718年、ほとんど無人の集落がウォリス(Wallis)伯爵の所有物になりました。彼らは統治者から見本市を開催する権利を受け取ったので、トルナは県のマーケットタウンとして再び発展しました。ドイツ人の入植は1720年代に始まり、主に、ドナウ川が始まる、ドイツの南部や南西部から人々が来ました。

ヨーゼフ・フェステティッチ(Fesztetics József)の死後、彼の後継者たちはしばらくの間、トルナをカロチャの大司教に貸し出しました。フェシュテティッチ(Fesztetics)家の相続紛争の後、1840年代初頭にこの地所はシーナギョルギ(Sina György)男爵の所有物になりました。

1856年、ドナウ川の河床の規制に続いて、トルナで川の大きな曲がり角が切断されました。その結果、トルナは生きているドナウ川を失いました。

2つの世界大戦の間、工場は発展を続け、新しい蒸気工場が設立され、いくつかの小規模な工房が運営されました。1930年代の終わりまでに、デッドドナウ川に架かる橋が建設され、何世紀もの間のフェリーの運航が終わりました。

第二次世界大戦中、ほとんどすべてのユダヤ人がトルナから強制送還されました。他の地域は捕虜になった人が帰国できましたが、トルナ・メズの人はいくつかの人が帰国できませんでした。解放後のドイツ人国外追放の後、村人たちは非人道的で無意味な集団的罰に苦しんでいました。しかし、生活は続き、絹と繊維の工場は操業を続け、職業は小規模の協同組合に集中しました。1960年代に、メズはトルナのパートナーになり、政権が変わるまで、Fácánkertという町もありました。



有名人:





## II. Géza király, Tolna, 1130. (ゲーザ2世)

ゲーザ2世は1141年から1162年までハンガリーの王でした。ヴァク・ベーラ(Vak Béla)とイローナ(Ilona)女王の長男です。ゲーザ2世は32歳で亡くなったにもかかわらず、ハンガリーの最強の王の1人ですが、世間ではほとんど忘れられています。彼の広範な外交政策、成功したキャンペーン、そして重要な教会活動により、彼はヨーロッパにおける自国の影響力を強化しました。彼の治世中に、ハンガリー王国はエジプトやホラズムと集中的に接触しました。



## Müller Adolf, Tolna, 1801. október 7. (アドルフ・ミュラー)

アドルフ・ミュラーは、オーストリアの作曲家、ハンガリー出身の指揮者の一人です。彼はトルナ・メズで生まれました。ミュラーはブルノで音楽を学んだ後、プラハ、レンベルグ、ブルノで働き、1823年にウィーンに移りました。ここで彼は最初に歌とピアノ作品を作曲し、1825年に彼は「軽い」ジャンルのミュージカル舞台作品に切り替えました。1826年から彼はケルトナートーア劇場の歌手兼作曲家であり、2年後彼はアンデアウィーン劇場に移りました。レオポルトシュタット劇場で、1865年まで作曲家および指揮者として働いていました。その人気はペストにも届きました。1827年から1846年の間に、ブダペストのドイツの会社も50以上の舞台劇を上演しました。

1847年から、彼はアンデアウィーン劇場でのみ働いていました。

彼の作品: 5006曲、640の舞台作品(オペラ、歌のゲーム、パロディー、オペレッタなど)、歌唱学校、アコーディオン学校、約400曲、楽器作品。



## Festetics Mária, Tolna, 1839. október 20. (フェシュテティッチ・マーリア)

マリア・テレジア・フェステティッチ・フォン・トルナ伯爵夫人は、オーストリア皇后エリーザベトの女官を務め星十字勲章を与えられました。

マリア・フェシュテティッチ (Festetics Mária)伯爵夫人は、1923年4月16日にソジトル(Söjtör)で83歳で亡くなりました。彼女の死後のいくつかの寄付の中で、ソジトル(Söjtör)の貧しい人に家を建てるためにお金をあげ、多くの地元の人々の子供たちが学校に通うことができました。



**Wosinsky Mór, Tolna, 1854. március 28. (ウォシンスキ・モール):**

ウォシンスキームーアは、ハンガリーの修道院長-教区司祭、考古学者、ハンガリー科学アカデミーの通信員の一人です。かれはトルナ・メズで生まれました。彼はカロチャのグラマースクール(Kalocsai gimnázium)で勉強を始め、司祭としてのキャリアを決めた後、ペーチ(Pécs)で哲学の勉強を続けました。彼は1877年8月15日に司祭になりました。その前は1872年からバラニャ(Baranya)県ゴドレン(Gödre)で牧師補佐を務めていました。司祭になった後、彼は牧師としてアポニー(Apponyi)伯爵の家族(1879年から)の恩寵の下でアパル(Apar)に送られ、そこでサンドル・アポニー(Apponyi Sándor)伯爵の注目を集めました。彼の推薦(すいせん)で、ペーチ(Pécs)の司教は彼を1881年にの教区司祭に任命しました。1885年に彼はザヴオド(Závod)に送られ、1887年から再びアパル(Apar)の教区司祭になりました。1894年に、彼はセクスールド(Szekszárd)のダウンタウンの教区司祭になりました。彼は考古学の研究もして、Lengyeliという町で新石器時代の遺跡も発見しました。

**名所:**

**Szentháromság-szobor:**

三位一体像

柱状の作品は、古典学者の後期バロックスタイルで作られました。それは1823年に完成しました。ハンガリーの記録によると、1882年に改装が始まり1980年代に復元されました。

住所: Tolna, Szentháromság tér



**Tolnai Nagyboldogasszony római katolikus templom:**

トルナイ聖母ローマカトリック教会



1769年から1773年の間にバロック様式で建てられました。1996年から1997年に改装されました。

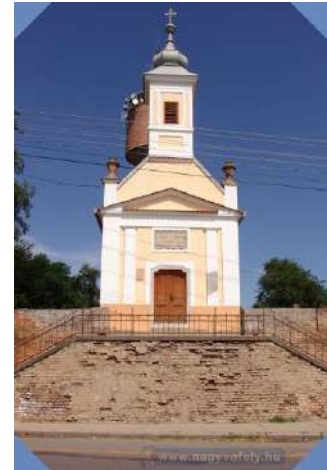
住所 : Tolna, Kossuth Lajos utca 30.

### Római katolikus Kálvária-Kápolna:

カトリック礼拝堂

ローマカトリックのゴルゴタ礼拝堂七つの悲しみの聖母に捧げられた礼拝堂は、現在の形で古典化された後期バロックスタイルで1779年に建てられました。その前身は1739年から1748年の間に建設されましたが、1765年に略奪され、その後新しく建設が行われました。

住所 : Tolna, Deák Ferenc utca 53.



### Tolnai Keresztelő Szent János templom:

トルナの洗礼者聖ヨハネ教会

洗礼者聖ヨハネに捧げられた教会は、1821年に研究財団によって古典主義のスタイルで建てられました。それは通りの少し内側に立っており、塔が正面にそびえ立っています。

住所 : Tolna, Szent István utca 37.

### Tolnai Kékfestő Műhely és Múzeum:

トルナブルーペインターの工房と博物館

1810年に設立された伝統工芸工房です。ハンガリーで最も古い本物の青い絵の工房の一つです。現在、第6世代目と第7世代目の職人が、設立当時の機械とサンプルを使用しています。

住所 : 7130 Tolna, Kossuth L. u. 21.

電話番号 : +36 (30) 628-4014

ウェブショップ : [www.tolnaikekfesto.hu](http://www.tolnaikekfesto.hu) (ウェブサイトは英語とドイツ語でも利用できます)

メール : [kekfesto@gmail.com](mailto:kekfesto@gmail.com)





### Festetics-Kastély:

フェシュテティチ宮殿

18世紀後半にロココ様式で建てられました。以前はウォーリス伯爵(Wallis Gróf)家が所有し、その後アポニー伯爵(Apponyi Gróf)家が所有していましたが、1742年にヨーゼフフェシュテティッチ(Festetics József)伯爵によって買収されました。その後、1844年に火事の犠牲となって、改修しました。

住所: Tolna, Festetich utca 1.

### Selyemgyár és Ipartörténeti Gyűjtemény:

シルクファクトリーと産業史のコレクション

ベゼレーディ・パール(Bezerédj Pál)の主導で、1898年にトルナにシルク紡績工場の建設を始めました。ハンガリー国が所有する工場は、1900年に生産を開始しました。

住所: Tolna, Selyemgyár utca



### Tolnai "MAG-Ház" Turisztikai Látogatóközpont és Műszaki-Kulturális Bemutatóhely:

トルナ「MAG-HÁZ」ツーリストビジターセンターおよび技術文化展示場

「MAG-Ház」は2015年にオープンしました。トルナの特別な文化遺産をインタラクティブな方法で提示することを目的としています。

住所: 7130 Tolna, Bajcsy-Zs. u. 73/B

電話番号: 74/540-117

メール: [maghaztolna@gmail.com](mailto:maghaztolna@gmail.com)



### Alta Ripa Szabadidőpark:

アルタリパレジャーパーク



レジャーパーク、EUが資金提供する「グリーンシティ」プロジェクトとして完成しました。特別な遊び場の中心的存在は海賊船です。

住所:トルナドナウ銀行

### **Merczel-Kert:**

メルツェル-公園

園芸技術者のGyörgyMerczelの庭には、約600種の植物が生息しています。総面積は0.5エーカー以上で、手入れの行き届いた木、低木、花があります。事前に予約すれば訪問することができます。

住所:7131 Tolna, Mőzs Temető u. 4.

電話番号: 74/443-073

ウェブショップ:<https://www.edenpont.com/hu/garden/10/1000-irisz-kertje>

### **ホテル・レストラン:**



### **Hotel Thelena:**

**Thelena** ホテル

住所:7130 Tolna, Kaszárnya u. 7.

電話番号: 74/442-049, 30/728-1044

メール: [hotel-thelena@tolna.net](mailto:hotel-thelena@tolna.net), [hotelt@tolna.net](mailto:hotelt@tolna.net)

ウェブсайт: [www.hotelthelena.hu](http://www.hotelthelena.hu)

### **Centrum Panzió:**

**Centrum** ペンション

住所:7130 Tolna, Kossuth L. u. 12/1.

電話番号: +36 30/603 7420





ウェブサイト: [info@ritaliatravel.hu](mailto:info@ritaliatravel.hu)



**ALTA RIPA vendégház:**

**ALTA RIPA ゲスト・ハウス**

住所: 7130 Tolna, Garay utca 18.

電話番号: (30) 640 9527

メール: [altaripavendeghaz@gmail.com](mailto:altaripavendeghaz@gmail.com)

**Mözsi Apartman:**

**Mözsi アパート**

住所: 7131 Tolna, Mözs Iskola u. 7.

電話番号: 30/478-13-41

メール: [viragandi74@freemail.hu](mailto:viragandi74@freemail.hu)



**Berkenye vendégház:**

**Berkenye ゲスト・ハウス**

住所: 7131 Mözs, Szent István u. 24.

電話番号: 74/440-592, 20/910-9768

メール: [akvizit@axelero.hu](mailto:akvizit@axelero.hu)



**Gusto food & drink bar:**

**Gusto フード&ドリンクバー**

住所: 7130 Tolna, Deák F. u. 84.

電話番号: +36 70 634 44 61

ウェブシサイト : [www.gustofoodtolna.hu](http://www.gustofoodtolna.hu)

**Hámori étterem:**

**Hámori レストラン**

住所 : 7130 Tolna, Kossuth u. 27.

電話番号 : 74/440-706

メール : [ali@tolna.net](mailto:ali@tolna.net)

ウェブシサイト : [www.ali91.hu](http://www.ali91.hu)



**町の歩き方:**

トルナ・メズに来る観光客はブダペストからバスでも電車も来ることができます。しかし電車の場合は、乗り換えが1回必要になるのでバスの方が便利です。

ブダペストの東駅、南駅、Kőbánya-Kispest からに電車が出発します。しかし、電車はセクサールドに行くだけで、そこから訪問者はバスでトルナ・メズに行かなければなりません。乗り換えがあるから、トルナ・メズまで約3時間かかります。バスの場合は、ネプリゲト「Népliget」の乗り場から出発することができます。

主要な名所はトルナ・メズのバスターミナルから歩いて約15分以内のところにあります。

トルナ・メズの中心は英雄広場(Hősök tere)です。英雄広場にはトルナ・メズの町役場があります。バス停の近くにはトルナのローマカトリック教会とトルナブルーペインターの工房と博物館があります。Hámoriレストランも同じ通りにあります。中心から一番遠いのはトルナの洗礼者聖ヨハネ教会です。

夜トルナ・メズにとまりたいときは、中心からアルタリパゲストハウスやCentrumパンプツィオまで歩いて行くことができます。

